

# □ 吹奏楽

## 中橋愛生

### ■国内団体の動き

プロのバンドの活動では、広島wo(指揮:下野竜也)がシカゴで行なわれたミッドウエスト・クリニックにおいて12月23日のファイナルコンサートに出演したのが大きな話題。渡米に際しクラウド・ファンディングで500万円を集めたのも新しい試み。他団体では、東京佼成woが多様な企画で活発。4月29日の第133回定期(指揮:秋山和慶)では金子三勇士の独奏で長生淳「ピアノ協奏曲」、11月23日の第136回定期(指揮:飯森範親)では高橋悠治「透影」を委嘱初演したのが目を引く。オオサカ・シオンwoは4月3日に西村友を正指揮者にすると発表。10月29日の第118回定期を就任記念演奏会とした。5月1日に行なわれた同団の第117回定期は初めて京都で開催。ジェームズ・バーンズとの初共演で交響曲第8番などを日本初演。ばんだwoは5月13日にジョナサン・ヘイワードを指揮者に迎えて公演。2月25日開催の芸術wo第3回演奏会は鈴木優人の指揮で新垣隆「ダイヴェルティメント」を委嘱初演。11月4日のシンフォニックウインズ東京の第11回定期演奏会はアンソニー・プログを招いている。

官公庁のバンドでは、陸上自衛隊中央音楽隊の隊長が樋口孝博に交替。6月2日に就任後初の定期。同隊は8月にスコットランドで行われたエディンバラ・ミラタリー・タトゥー2017に出演。出演者相互の投票による最優秀団体賞に選出される快挙。警視庁音楽隊は10月28日にミャンマーで開催された世界のおまわりさんコンサートに出演。

音楽大学の活動では東京藝術大学が昨年引き続き意欲的。1月7日より2日間に渡って吹奏楽指導者講習会を実施。同大woによる特別演奏会も行なう。5月には3枚目となるCDをリリース。7月の定期では客演にオラフ・オット(Trb)を迎え、直後の15日には北海道教育大学とジョイント・コンサートを開催している。他大学では3月4日に大阪音楽大学がフィリップ・スパークを客演指揮に招き第48回演奏会。海外の人気作曲家を招くのは近年の流行だが、音楽大学での招聘は珍しい。東邦音楽大学は2月19日に東邦音楽大学woスペシャル・ユニットの第一回定期を開催(指揮:加古勉)。学生と教員の混成によるバンドの公演は初となる。洗足学園音楽大学は6月22日の公演で指揮に22年振りの来日となるティモシー・レイニッシュを招聘。同大は12月3日の公演でジョン・マッキーへの委嘱作品をジェリー・ジャンキンの指揮で初演している。昭和音楽大学はウインドシンフォニーコースを新設、音楽大学として初の吹奏楽の専門教育を開始した。

### ■イベント

前年4月の真島俊夫の急逝の影が残る。1月4日には真島俊夫メモリアルコンサートが東京芸術劇場で開催。神奈川大学・淀川工科高校・片倉高校・作新学院・杉並高校・自衛隊音楽隊有志による合同バンドが出演。20回目を迎えた恒例の「響宴」は3月19日に文京シビックホールで行なわれ16曲が演奏されたが、ここにも真島作品1作が追悼として含まれる。同じく恒例となった「バンド維新」は3月4日と5日に行なわれ、7曲の新作に真島による同イベントのための旧作を加えたもの。バンド維新はこれで10回目を迎え2018年は休止と発表。以後の継続

は不明。5月3日と4日には「なになに《オーケストラ》ウインズ」が15回目の公演を行ない、これをもって活動終了が宣言された。定期イベントの終了が目立つが、後継も見られる。なにないowと同様にプロの管弦楽団奏者が集まって行なう形態のコンサートは、より若い年代の首都圏の奏者による「オーチャード・プラス」に引き継がれた感があり、前年に引き続き11月11日に第2回公演が藤重佳久の指揮で行なわれた。2015年に休止が発表された日本管楽合奏指揮者会議(JWECC)が4月9日に岡崎でアメリカの作品をテーマに小規模に再開。ラ・フォル・ジュルネ(LFJ)は金沢会場が前年で終了となったが、同時期の4月末より「いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭」が開始、吹奏楽の公演も行なわれる。LFJ東京には中村睦郎の指揮でシエナwoが初参加、挟間美帆の新作「The Dance」を初演(同曲のみ自作自演)、同時に挟間の同団コンポーザー・イン・レジデンス就任が発表される。LFJびわ湖でも吹奏楽公演が実施された。

他のイベントでは、5月6日の第21回「A.リード音の輪コンサート」は指揮にジェームズ・バーンズを迎えての開催。7月22日には2018年に開催予定のアジア太平洋吹奏楽指導者大会の予行として記念演奏会が浜松で開かれた。11月5日に奈良県かしはら万葉ホールで初のママさんプラスフェスティバル全国大会が開催。12月10日には三州倶楽部主催で明治維新150年記念演奏会「日本の民俗音楽は黒潮に乗って&日本吹奏楽考」が開催され神奈川大学吹奏楽部が演奏。また、1月から6月にかけて還暦を迎えた作曲家・天野正道の記念コンサートが日本各地5カ所で開催するなど、吹奏楽のイベントの在り方が多種多様になってきたのが実感される。

### ■海外との交流

先述の広島woと陸上自衛隊中央音楽隊の他、7月9日に龍谷大学がチューリッヒ国際青年音楽祭コンサート部門最上級でグランプリ受賞。7月22日から23日に沖縄県西原高校マーチングバンド部がオランダで4年に一度開催される世界音楽コンクールでマーチング部門銀賞・ショー部門金賞を受賞する快挙。例年ながら台湾に赴いたバンドは多く、5月にブリッツ・フィルが吹奏楽祭参加。7月に埼玉越谷南高校と浜松開成中学がバンドクリニック出演。12月に高山西高校・精華女子高校・東海大学菅生高校・武生商業高校・長野県高校選抜バンド・国立音楽大学が嘉義国際音楽祭に出演している。7月にはNiconico Sounds in BRASSが香港の国際音楽祭に参加した。

高校バンドの海外遠征も多く、1月2日に岐阜商業高校がアメリカのローズパレードに出場した他、3月には京都両洋高校(ドイツ)・東海大学付属高輪台高校(オーストリア・チェコ)・明治大学明治高校(シンガポール)が、12月には鈴鹿市の白子高校(ドイツ)が赴いている。また、3月下旬には西日本の高校生から大人まで160名が集まった「西日本選抜グリーンバンド」がフロリダで交流コンサートを開催した。

来日した海外の団体では、9月のコールドストリーム・ガーズ・バンド日本ツアー、10月末の前年に続くブラック・ダイク・バンド日本ツアー(全4公演)が話題に。7月から3ヶ月かけて「プラスト!」が47都道府県をまわるツアー、11月14日にはタイのプロ吹奏楽団であるフェローシ交響吹奏楽団が初来日公演(川崎市多摩市民会館)。大学バンドでは1月にカーセイジ大学が中国地方に、3月に韓国の蔚山大学が広島に訪れ交流コンサートを行なった。他にもいくつかの高校バンドが来日。7月9日には埼玉国際吹奏楽祭2017で日台国際交流演奏会が開催されるなど、国際的な活動が増えているが、2019年に東京で開催予定だった世界吹奏楽大会(WASBE)の中止が12月に発表されたのは痛恨の極み。